

令和3年度決算

問合せ 財政課へ

令和3年度一般会計・特別会計および企業会計の決算が出ました。みなさんが納めた税金や国・府からの補助金などが、どのように使われたのかをお知らせします。 ※端数処理のため、金額やパーセント表記にずれが生じる場合があります。

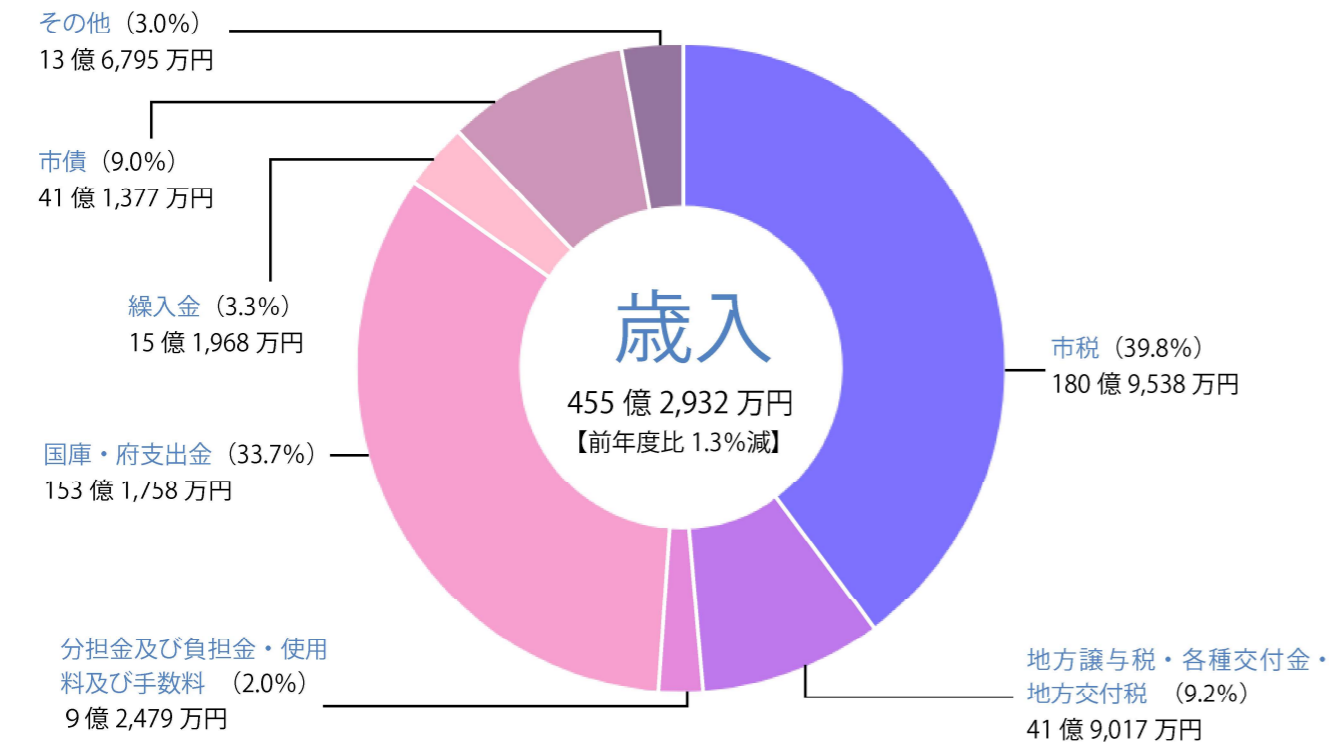
一般会計

市税などを主な財源として、行政の基本的な経費（福祉、教育、土木などに要する経費）を経理する会計

歳入	歳出
455億 2,932万円	448億 7,779万円

実質収支 継続して黒字に

令和3年度の一般会計の決算額は、歳入と歳出の差し引きが6億5,153万円となり、令和4年度に繰り越した事業の財源1億1,722万円を除くと、実質収支5億3,431万円の「黒字」決算となりました。



企業会計

民間企業と同様、事業収益を上げて運営する会計

会計名	収入 (前年度比)	支出 (前年度比)
水道事業会計	21億1,480万円 (1.8%減)	18億6,492万円 (1.6%増)
下水道事業会計	36億9,610万円 (0.9%減)	34億6,834万円 (1.7%減)
合計	58億1,090万円	53億3,326万円

※いずれも収益的収支（経常的な事業活動に伴って発生する収益と費用の収支状況）による額

特別会計

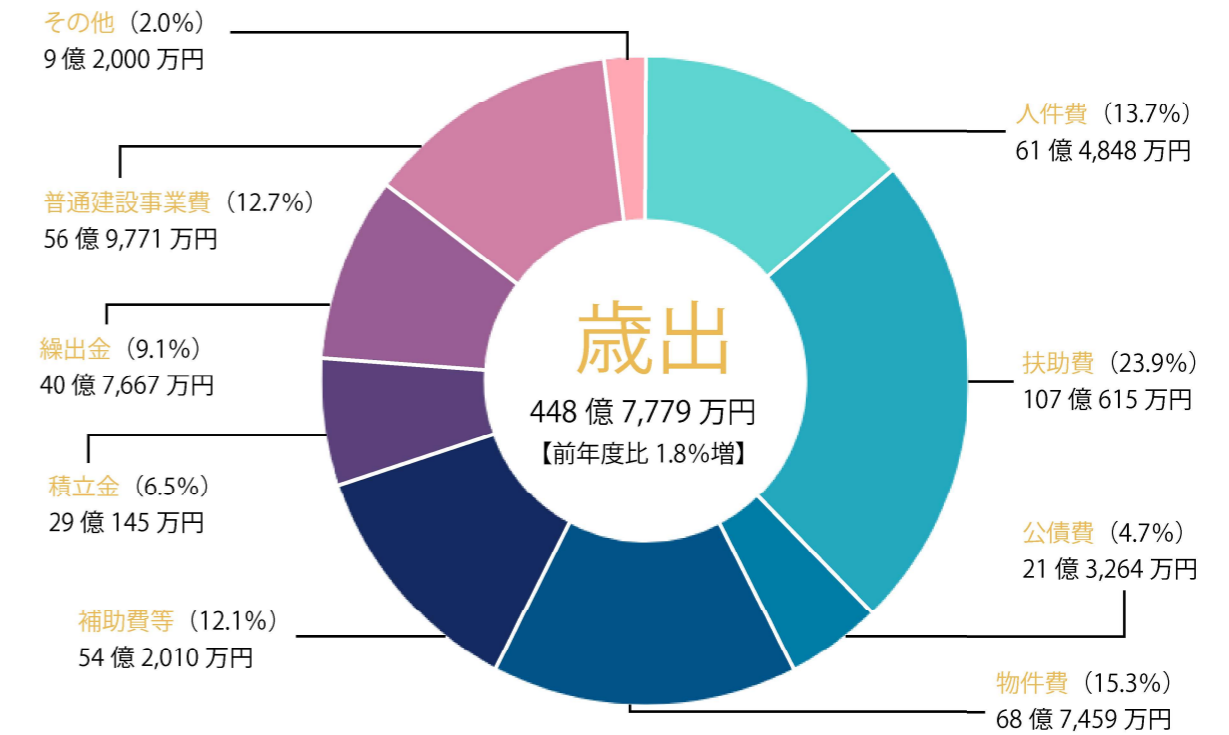
特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計

会計名	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)
国民健康保険特別会計	93億2,315万円 (0.3%増)	93億413万円 (0.7%増)
財産区財産特別会計	13億8,810万円 (2.1%増)	2,887万円 (23.6%減)
パートタイマー等退職金共済特別会計	826万円 (50.2%減)	826万円 (50.2%減)
介護保険特別会計	71億5,938万円 (5.8%増)	70億2,099万円 (5.8%増)
後期高齢者医療特別会計	13億930万円 (1.6%増)	12億5,258万円 (1.4%増)
合計	191億8,819万円 (2.5%増)	176億1,483万円 (2.6%増)

用語解説

- 市税** みなさんが納めた税金
- 地方譲与税・各種交付金・地方交付税** 国や府からの使い道の決まっていない交付金
- 分担金及び負担金・使用料及び手数料** 保育料やごみ処理手数料など、みなさんが負担したお金
- 国庫・府支出金** 国や府からの使い道が決まった交付金
- 繰入金** 基金（貯金）を取り崩して一般会計に入れたお金
- 市債** 国や銀行などから借りるお金

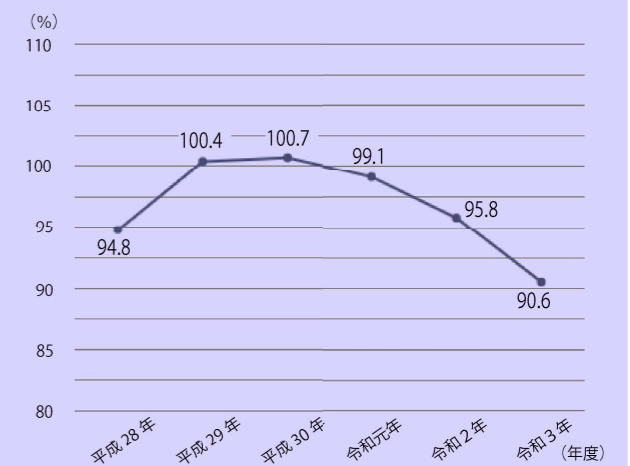
- 人件費** 職員の給与や議員の報酬にかかる経費
- 扶助費** 子どもや高齢者、障害者などの社会保障経費
- 公債費** 市債（借金）の返済金
- 物件費** 消耗品や印刷代、光熱費などの経費
- 補助費等** 団体への助成金や負担金の経費
- 積立金** 財政運営を計画的に行うための貯金
- 繰出金** 特別会計や企業会計を調整するための費用
- 普通建設事業費** 道路や学校などの建設や改修費用



経常収支比率 3年連続 100%を下回る

経常収支比率とは、市税などの毎年度決まってくる収入で、毎年度必要とされている人件費などの経費がどれだけ賄えているかを表したものです。この数値が高いほど、財政が硬直化していることを示します。

令和3年度の経常収支比率は90.6%と大幅に改善しましたが、臨時財政対策債を除くと96.4%となり（昨年は97.1%）、徐々に改善の傾向にあります。



用語解説

- 財政の硬直化** 予算が人件費などの固定費に占められ、新しい政策の財源確保が困難な状況
- 臨時財政対策債** 国から交付される地方交付税の不足補填のために、一旦金融機関から借りるお金